

地域の取組事例紹介

取組を始めたきっかけや事例について

秋田県横手市(一般社団法人 横手市観光推進機構)

秋田県横手市は年間約285万人の受入実績を持ち、伝統行事「かまくら」や横手やきそばといった代表的な観光資源を有する

●申請地域概要

エリア名

- 秋田県横手市

申請団体名

- 一般社団法人 横手市観光推進機構

年間観光客数 (令和5年)

- 約285万人（うち外国人約6,500人）

年間延べ宿泊客数 (令和5年)

- 約23万人（うち外国人約2,500人）

主な観光資源

- 伝統行事「かまくら」
- 横手やきそば
- 国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された「内蔵のまち増田」
- マンガ原画収蔵数日本一を誇る「横手市増田まんが美術館」
- 通年で本物のかまくらが体験できる「かまくら館」



伝統行事「かまくら」



横手市増田まんが美術館

本市では事業者単体での取組実績はあったものの継続的な取組に至らず、中長期的な取組に資する受入体制の整備が必要

●取組の背景・目的

【今後地域として目指す姿】

- 地域全体でインクルーシブな受入体制を整え、寛容で多様な食文化を尊重する地域として、観光客の満足度を高め、インバウンド観光の誘客による地域経済への効果を生み出し持続可能な観光地としての発展を目指します。

【これまでの受入実績】

- インバウンド誘客において、特に台湾やタイからの観光客を重要なターゲットとしている中、約10年前に単体の飲食店等にてムスリム対応の商品開発などに挑戦した取り組み事例がある。

【地域の課題】

- 現状ではベジタリアン・ヴィーガン、ムスリム観光客の受入体制が十分に整っておらず、横手市内の飲食・宿泊・観光等の関係者間でも、観光客のニーズに対する意識や取組方針が未だに共有されていない。また、約10年前に単体の飲食店等にて取り組んだムスリム対応の商品開発においても、その後の継続的な取組や販路拡大等の成果には至っていない。

【本事業終了時の目指す姿】

- 地域全体でインクルーシブな受入体制を整え、寛容で多様な食文化を尊重する地域を目指す。独自の「横手人VEGANルール」の構築を通じて地域としてのポリシーを定め、事業年度終了後にも継続的に運営し、対応事業者を拡大することで、観光客によって安心して訪れることができる観光地の実現を目指す。

ベジタリアン・ヴィーガン、ムスリムへの対応状況や理解度を把握するため、地域内35事業者を対象とした現状調査を実施

●現状調査の概要

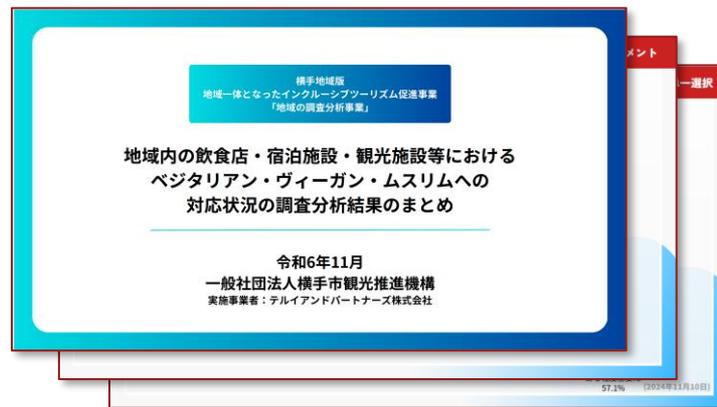
- 秋田県横手市内の事業者によるベジタリアン・ヴィーガン、ムスリムへの対応状況・理解度・参入時のハードル・需要と課題について把握するための現状調査を実施
- 地域内の35事業者への個別訪問を行い、基本事項のレクチャーを実施すると共に、アンケートへ回答いただく形でデータを収集・分析



対象事業者へ個別訪問し、現状調査している様子

●現状調査の結果

- アンケートの回答内容を分析し、ベジタリアン・ヴィーガン、ムスリム対応を個別で実施している店舗の割合（約20%）やムスリムにおける対応率（約5%）・理解度（約70%以上が全く理解していない）などを把握
- 分析結果を報告書として取り纏めたことに加え、秋田県横手市の中長期的な受入体制整備に資する「横手人VEGANルール」の構築に活用



現状調査結果を取り纏めた報告書

本市の中長期的なベジタリアン・ヴィーガン対応に資する横手人VEGANルールを構築し、定めたポリシーに基づき環境を整備

●「横手人VEGANルール」

- 秋田県横手市での中長期的なベジタリアン・ヴィーガン受入体制の整備に向け、横手人VEGANルールを構築
- 横手人VEGANルールでは、横手人VEGANポリシーを定め、本事業に参画頂いた10軒の事業者へ個別訪問を実施することで内容の周知や意識の共有を図った
- 参画頂いた10軒の事業者は、横手人VEGANポリシーに基づき、新規メニューの開発や既存メニューの可視化・整備を実施頂いた
- また、独自の横手人VEGANマークを開発し、対応メニューに対してVEGANマークシールの貼り付けを実施した



横手人VEGANルール



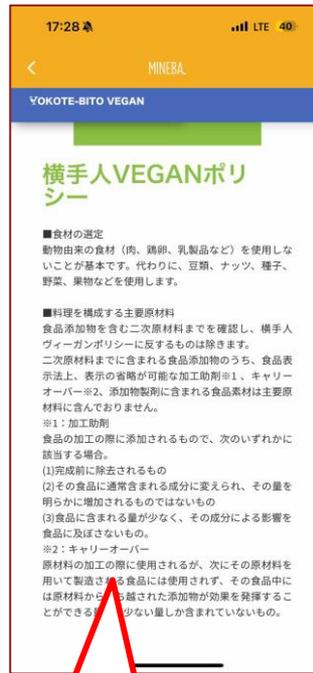
横手人VEGANマーク及びメニュー表整備（メニュー表へVEGANマークを貼付）の様子

横手市民向けの推奨アプリMINEBAにて、対応店舗情報を発信し、市民自ら観光客へ対応店舗を紹介できる仕組みを構築

● 横手市民推奨アプリMINEBAを用いた市民向けの情報発信



MINEBAアプリのトップ画面に表示されている横手人VEGANルールの紹介バナー



バナーをクリックすると横手人VEGANルールやポリシーの紹介がされ...



加えて、協力店舗の情報も表示される



今後はベジタリアン・ヴィーガン対応店舗の拡充に加え、ムスリム対応の取組開始に向けた意識醸成を図る予定

● 新たに見えた課題・引き続き取り組むべき事項

現状調査を実施した市内35事業者のうち、約80%の事業者がベジタリアン・ヴィーガン・ムスリム向けの特別な対応を行っていない状況。ムスリム対応（ハラール認証含む）は対応率が最も低く、5.7%（2事業者）のみ。

アンケート結果における理解度については、ベジタリアン・ヴィーガンに対しては、半数以上がある程度理解しているが、ムスリム対応については、「あまり理解していない」又は「全く理解していない」と回答した店舗が70%を超えている。

また、最も難しいと感じる対応では「ヴィーガン対応」が約14%、「ベジタリアン対応」は約5%にとどまり、比較的難しさを感じる店舗が少ないが、「ムスリム対応」については80%が難しいと感じており、検討するにあたっての情報の不足や理解度の不足が伺える。



難易度が高いと感じているムスリム料理

● 今後の目標・取組構想

【取組の方向性】

- VEGANに対しては、50%以上の店舗がある程度理解していると回答しているので、正しい知識・理解を深めるフォローアップを店舗訪問等で実施しながら、地域として面的な受入体制の構築を図る。
- ムスリムに関しては基礎的な部分から詳細な部分までのレクチャーをする必要があるため、セミナーの開催や情報提供を行う。

【次年度以降実施することが決定している事項】

- ヴィーガン提供店舗の情報発信を強化するとともに、ムスリムへの対応なども検討する。



店舗への個別訪問の様子